

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成21年5月28日(2009.5.28)

【公開番号】特開2007-11368(P2007-11368A)

【公開日】平成19年1月18日(2007.1.18)

【年通号数】公開・登録公報2007-002

【出願番号】特願2006-179449(P2006-179449)

【国際特許分類】

G 0 2 F 1/1345 (2006.01)

G 0 9 F 9/30 (2006.01)

【F I】

G 0 2 F 1/1345

G 0 9 F 9/30 3 3 0 Z

【手続補正書】

【提出日】平成21年4月14日(2009.4.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の画素が形成された表示領域、

外部の駆動回路に接続されるパッド部が形成され、前記表示領域を囲む周辺領域、

前記周辺領域に形成され、前記画素と前記パッド部との間を接続している扇状の配線群で構成された第 1 ファンアウト部及び、

前記周辺領域で前記第 1 ファンアウト部に隣接し、前記画素と前記パッド部との間を接続している扇状の配線群で構成された第 2 ファンアウト部を有する表示パネルであり、

前記第 1 ファンアウト部と前記第 2 ファンアウト部とでは各配線の傾きが非対称であること、及び、

対称的な位置にある前記第 1 ファンアウト部の配線と前記第 2 ファンアウト部の配線との対では、一方が、他方の対応部分とは異なる抵抗を示す等抵抗部を含み、

前記等抵抗部と前記対応部分との間の抵抗差が、前記非対称性の傾きに起因する配線間の抵抗差を相殺することを特徴とする表示パネル。

【請求項 2】

前記第 1 ファンアウト部と前記第 2 ファンアウト部との各配線が、前記パッド部から前記表示領域の縦方向または横方向に延びる直線部と、前記直線部の端から前記直線部に対して斜めに傾いて延びる斜線部とを含み、

前記第 1 ファンアウト部と前記第 2 ファンアウト部とでは前記斜線部の傾きが非対称である請求項 1 に記載の表示パネル。

【請求項 3】

前記等抵抗部がジグザグパターンを含む請求項 1 又は 2 に記載の表示パネル。

【請求項 4】

前記第 1 ファンアウト部と前記第 2 ファンアウト部とでは各配線の全長が実質的に同一である請求項 1 から 3 のいずれか 1 つに記載の表示パネル。

【請求項 5】

前記等抵抗部の配線の幅が前記対応部分の配線の幅より広い請求項 1 から 4 のいずれか 1 つに記載の表示パネル。

【請求項 6】

前記等抵抗部の配線の幅が前記対応部分の配線の幅より狭い請求項 1 から 4 のいずれか 1 つに記載の表示パネル。

【請求項 7】

前記表示パネルが前記表示領域に、前記画素を区切る複数のソース配線と複数のゲート配線とをさらに有し、

前記第 1 ファンアウト部及び第 2 ファンアウト部の各配線群が前記ソース配線に接続されている請求項 1 から 6 のいずれか 1 つに記載の表示パネル。

【請求項 8】

前記等抵抗部が多層金属パターンを含む請求項 1 から 7 のいずれか 1 つに記載の表示パネル。

【請求項 9】

駆動回路をそれぞれ実装する複数の印刷回路基板及び、

複数の画素が形成された表示領域と、前記駆動回路から駆動信号を受けるパッド部が形成された、前記表示領域を囲む周辺領域とを含む表示パネルを有する表示装置であり、

前記周辺領域では、前記パッド部から前記画素に前記駆動信号を出力する扇状の配線群でそれぞれ構成された第 1 ファンアウト部と第 2 ファンアウト部とが隣接していること、

前記第 1 ファンアウト部と前記第 2 ファンアウト部とでは各配線の傾きが非対称であること及び、

対称的な位置にある前記第 1 ファンアウト部の配線と前記第 2 ファンアウト部の配線との対では、一方が、他方の対応部分とは異なる抵抗を示す等抵抗部、を含み、前記等抵抗部と前記対応部分との間の抵抗差が前記傾きの非対称性に起因する配線間の抵抗差を相殺することを特徴とする表示装置。